

出題意図

【2026 年度入試 地理 A 日程 1 日目】

【1】

日本の国土や地理の課題を考察するのに必要な一連の探究手法について、沖縄の観光を例に出題しました。具体的には、探究課題の設定、事前調査の実施、仮説の設定、調査計画の準備、現地調査の方法、情報収集の手段、調査結果の考察、探究結果の発表・討論、新たな課題の発見、という探究活動の流れを理解しているか、またそれぞれの段階の内容や意義をわかっているかを問いました。

【2】

北海道の中頓別地区の地形図を出題し、地形図について等高線や地図記号の理解がされ地形図を正しく読み取れるかを問いました。また、この地域に関連してカルスト地形について出題し、その形成過程やそれがどのような地形なのかを理解できているかを問いました。

【3】

東南アジアの農業とその変化を現代史的な観点から出題しました。ASEAN 諸国はどのような国から成り立つのか、各国の地理、稲作の歴史、農業の特徴などがポイントです。とくに 18 世紀後半以降の欧米諸国の植民地政策として行われたプランテーションが各国の農業に与えた影響および、宗主国の国内事情や宗主国からの独立で東南アジアの各国の農業がどのように変化するのかを問いました。

【4】

西アジアの地形や気候の特徴や中核国(サウジアラビア)とイスラム教中心都市名(メッカ)を問い、砂漠の多い土地での農業や生活形態を問いました。
中東国家(民族)間の複雑な状況と、1970 年代以降の石油産業や領土をめぐる闘争となったアメリカや西側諸国湾岸戦争について問いました。

出題意図

【2026 年度入試 地理 A 日程 2 日目】

【1】

民族とは何か、国家とは何か、民族・言語・宗教と国家はどのような関係にあるのかを問いました。近代国家が成立する過程で民族はどのような役割を演じ、現代国家において民族はどのように位置づけられるかを出題しました。また、民族を超えて世界各地に広がった世界宗教および、国家と宗教・言語の関係についても確認しました。言語については、国語・母語・標準語・公用語などの用語を理解しておくことが重要です。

【2】

問1～問3は日本の各種統計を出題し、時系列による統計の変化を正しく読み取ることができるかを問いました。問4は1次産品と自動車について日本の輸入相手国を出題し、グローバル化の進んだ国際関係を理解しているかを問いました。問5では奈良県の集落の写真を出題し、集落の特徴を理解できているかを問いました。

【3】

アフリカ大陸の地理について出題し、その地形の特徴を理解できているかを問いました。また北アフリカ諸国はアフリカ大陸の中でも比較的経済的に豊かであるのは何故かについて問いました。

【4】

南アメリカの地理について出題し、その地形、気候、農業について理解できているかを問いました。また南アメリカ南部に見られる氷河地形に関連して、日本の氷河地形が見られる中部山岳地帯の地形図を出題し、地形図を読み取ることができるかを問いました。